

# 原発ゼロをめざす長野県連絡会

第21号

2014. 3. 14

事務局 〒381-0034 長野市高田 276-8 長野県労連内

TEL 026-223-1683 FAX 026-227-1783

ホームページ <http://w2.avis.ne.jp/~krm-jim2>

## なくせ原発、再稼働反対、安倍の原発暴走を止めようと、県内11地区で2500人が行動

3月8日から11日までの期間で、「なくせ原発」「再稼働反対」「福島を早期復興」を掲げて、11の地域で行動が取り組まれ、約2500人が参加しました。

大震災・原発事故から3年を迎えましたが、福島県全体の避難者は3月6日現在、県内避難87,551人、県外避難47,995人と、いまだに14万人近くを数え、増え続ける原発事故関連死は1,671人となり、地震・津波の直接死1,603人を大きく上回っています。仮設住宅の劣化も含め避難生活は、まさに限界をこえています。また、今後の生活再建のカギをにぎる「除染」「賠償」「廃炉」にしても、依然先の見えない状況が続いています。さらに、増え続ける汚染水は、放射性物質を地中や海中に拡散し、その深刻化が国際的にも注目されるありさまです。福島第1原発の現状は、まさに国家的非常事態とも言うべき危機に直面しています。しかし、驚くべきことに、安倍内閣は2月25日、原発を「重要なベースロード電源」と位置付け、再稼働・原発輸出・核燃料サイクルも推進するという時代逆行の「エネルギー基本計画案」を決定し、今月中の閣議決定を狙っています。さらに、川内原発(鹿児島県)の再稼働を強行しようとしています。

こうした情勢の中での今回の取り組みは、「脱原発」の1点での共同と、金官行動に連帯した、毎週金曜日の行動などの粘り強い取り組みの積み重ねの上に実施されました。また、集会以外に、映画会や講演会など多彩な取り組みがありました。若い人たちの参加が広がる一方で、行動全体の参加者が、残念ながら減少しています。安倍内閣の原発推進の暴走を阻止するためにも、あらためて、地域や職場・学園からもっと大きな運動をつくりだすことが求められています。今回の行動をその新しい出発点にしようとの熱い思いが共有されました。

### <長野>



長野市の集会には500人が参加しました。

全員で黙とうをした後、3名の呼びかけ人(袖山榮真さん、田澤洋子さん、本道多加子さんが挨拶し、森永敦子さんが「福島からの訴え」をしました。森永さんは「被災から3年と言われるが、今も被災し続けている。15万人が今も避難生活を余儀なくされている。 Fukushima原発事故が続く中での原発再稼働は許せない」と訴えました。参加者・団体の訴えの

中で、県内の大学生でつくる復興支援グループ「KIKKAKE BUS」の8人も登壇し「南三陸



産のわかめが風評被害で売れない。味噌汁を試食して食べてください」と発言しました。集会後参加者は、市内をデモ行進し、「原発をなくそう」「再稼働反対」を元気に訴えました。

この日は、午後から、平和シンポNAGANO主催の原発シンポジウムが開催されました。坂田雅子さん、マブソン青眼さん、森永敦子さんがパネリストになり、100名を超える市民の皆さんが参加して、熱心な話し合いが行われました。

## ＜佐久＞

3. 11佐久ネット主催の「放射 NO! 脱原発佐久大行進」が、佐久市民交流ひろばで開かれました。2012年には500名を遙かに超えた人が集まったが、二回目の昨年は250、今回は150の集会となりました。政治状況や無力感もあって、継続は難しいことですが、今日も初めて参加した人がいたり、初めて発言してくれた人もいて、新たな感動がありました。開会前のアトラクションは「しお9バンド」という3. 11後に結成されたメンバーが反原発の演奏をしてくれて、楽しかったし、演奏している人たちも楽しそうでした。



アピール発言をしてくれたのは放射能を考える会の長岡さん、退教9条の会の小林さん、サラバの湯浅さん、六カ所会議浅間の栗田さん、平和委員会の望月さん。「これは一生かけて声を上げ続ける活動だから焦らない」という栗田さんの言葉を共有し、無くなるまでうまずたゆまず続けていこうと確認しあえた日でした。午後は原発関連の上映会をしました。30人を越えて、本当に熱心に見ただけで企画した側も嬉しかったです。以下は寄せられた感想の一部です。

- ・セシウムの影響を過小評価している日本の医療機関、関係者の恐ろしさを知った。今、被曝したこともたちの子どもの世代が心配なんだと言うことを知った。
- ・原発事故に対して「いのち」の視点での訴えはざしりと胸に響きました。飯館村の村長や村民が、事故について「悲しくて悔しくてなりません」の言葉の持つ意味を私たちは深くかみしめなければならないとしみじみ思いました。



・あの原発事故から時がたち強い原発反対の思いが少しずつ離れていくことを思い、今日の上映会に参加したく出かけてきました。改めてあの日の恐怖、福島の方々への想いがよみがえりました。

・原発ビジネスのためにどれだけのうそ、いつわりがされてきたかがよく分かりました。再生可能エネルギーをあちこちの地域で起こしていくことが第一歩になりますね。日常で忘れかけていたことを思い起こされました。